

- 問1 「環境への負荷」を指標として、自動車、バス、鉄道の3つの輸送手段を、1人を1km運ぶ際の二酸化炭素排出量が「多い順（負荷が高い順）」に並べたものとして正しいものはどれですか。なお、それぞれの排出量は、自動車が約147g、バスが約56g、鉄道が約22gであるものとします。
。（2017年 岩手県公立入試 類似）
1. バス > 自動車 > 鉄道 2. 鉄道 > バス > 自動車 3. 自動車 > 鉄道 > バス 4. 自動車 > バス > 鉄道
- 問2 石油、石炭、天然ガスのように、大昔の動植物の遺骸が地中で長い年月をかけて変化し、エネルギー源として利用されている資源を総称して何と呼びますか。
。（2020年 岡山県公立入試 類似）
1. 再生可能エネルギー 2. 鉱産資源 3. バイオ燃料 4. 化石燃料
- 問3 循環型社会の形成を目指す統計資料において、日本のごみの総排出量は減少傾向にあるものの、最終処分場の確保が課題として挙げられています。この課題を解決するために「リサイクル」が進められていますが、リサイクルを行う際に留意すべき点として、最も適切な説明はどれですか。
。（2017年 鳥取県公立入試 類似）
1. プラスチックや缶を資源として回収すれば、元の製品と全く同じ品質のものを無限に作り直せる。
2. リサイクルはごみを減らすための最も優先順位が高い取り組みであり、他の2Rより重視される。
3. 企業にはリサイクルの義務はないため、消費者の分別の徹底のみによって解決を図るべきである。
4. ごみを資源として再生する際には、分別の手間や加工のためのエネルギー、費用がかかる。
- 問4 発展途上国などで導入されている、貧困層の人々が自立して事業を始められるよう、無担保で小口の資金を貸し出し、収入を得る機会を提供する仕組みを何といいますか。
。（2024年 青森県公立入試 類似）
1. マイクロクレジット 2. インクルージョン 3. リージョナリズム 4. マニファクチュア
- 問5 「持続可能な消費」を実現するためのエシカル消費の具体的な事例として、最も適切な説明を選びなさい。
。（2026年 富山県公立入試 類似）
1. 経済を活性化させるため、流行に合わせて安価な衣類を大量に購入し、頻繁に買い替える。
2. 個人の満足度を高めるため、社会的背景に関わらず自分が最も有名だと思うブランド品を収集する。
3. 途上国の生産者の生活を守るため、適正な価格で取引されたフェアトレード商品を購入する。
4. 利便性を最優先し、過剰な包装がなされた商品を日常的に使い捨てる。
- 問6 2015年に開催されたCOP21（国連気候変動枠組条約第21回締約国会議）において、地球温暖化を防ぐための新たな国際的な枠組みとして採択されたものを次から選びなさい。
。（2026年 新潟県公立入試 類似）
1. 持続可能な開発目標（SDGs） 2. 京都議定書 3. パリ協定 4. バゼル条約
- 問7 ある中学校の授業で、環境問題や経済格差の解決に向けた国際的な取り組みについて話し合いが行われました。その中で、2030年までに達成すべき「海の豊かさを守ろう」といった17の具体的な目標を掲げ、持続可能でより良い世界を目指す国際目標として紹介された名称として適切なものを次の中から選びなさい。
。（2024年 福岡県公立入試 類似）
1. SDGs（持続可能な開発目標） 2. APEC（アジア太平洋経済協力） 3. ODA（政府開発援助） 4. TPP（環太平洋パートナーシップ協定）
- 問8 消費者が地元の製品を優先的に購入する「地産地消」は、エシカル消費の代表的な事例です。この行動が環境問題の解決に貢献する理由として、最も適切な説明を選びなさい。
。（2023年 熊本県公立入試 類似）
1. 生産コストを削減するために、農薬や化学肥料を大量に使用した効率的な生産を促すから
2. 海外からの輸入品を排除することで、国内の自給率を100%に固定できるから
3. 生産地から消費地までの距離が短くなることで、輸送にかかるエネルギー消費を減らすことができるから
4. 地域の伝統的な調理法を広めることで、食文化の多様性を守ることができるから
- 問9 発展途上国で作られたコーヒーや砂糖などの製品を、労働に見合う公正な価格で継続的に買い取ることで、生産者の生活向上や経済的な自立を支援する仕組みを何と呼びますか。最も適切な語句を選びなさい。
。（2020年 岐阜県公立入試 類似）
1. 保護貿易 2. 自由貿易協定（FTA） 3. 政府開発援助（ODA） 4. フェアトレード
- 問10 発展途上国の生産者が、コーヒー豆やカカオ、綿花などの農産物を輸出する際、国際価格の変動や中間業者の搾取によって不当に低い価格で買い叩かれ、貧困から抜け出せない状況があります。こうした状況を改善するために、生産者が安定した生活を送れるよう、適正な価格で継続的に取引を行う取り組みを何と呼びますか。
。（2017年 茨城県公立入試 類似）
1. 自由貿易協定（FTA） 2. 持続可能な開発目標（SDGs） 3. 政府開発援助（ODA） 4. フェアトレード（公正な貿易）
- 問11 使われなくなった携帯電話やパソコンなどの小型家電製品には、金などの希少な金属が含まれています。これらの製品を資源として捉え、回収して再利用する取り組みを何と呼びますか。
。（2023年 滋賀県公立入試 類似）
1. バイオマス発電 2. 海底資源開発 3. 貿易摩擦 4. 都市鉱山
- 問12 SDGsの目標1「貧困をなくそう」と目標2「飢餓をゼロに」の違いに注目したとき、日本で行われている「子ども食堂」などの活動が、主に目標1に関連すると整理される理由について、背景を踏まえて説明したものとして適切なものはどれですか。
。（2023年 鳥取県公立入試 類似）
1. 単なる食料供給の不足（飢餓）が問題なのではなく、背景にある家庭の経済的困窮という社会構造自体の解決を目指しているから
2. 先進国においては食料が飽和しており、飢餓は発生しないため、すべての食に関わる課題は貧困問題に分類されるから
3. 子ども食堂はボランティアによる活動であるため、政府の公的扶助制度である生活保護を補完する唯一の手段となっているから
4. 子ども食堂の主な目的は農業の活性化であり、食料生産を増やすことで市場価格を下げ、家計を助けることを目指しているから
- 問13 2015年に採択されたパリ協定が、1997年に採択された京都議定書と比べて画期的であるとされる理由として、最も適切な説明はどれですか。
。（2022年 愛媛県公立入試 類似）
1. 温室効果ガスの排出を完全にゼロにする期限を、2020年までと厳格に定めたから。
2. 二酸化炭素の排出量に応じた課税を行う「環境税」の導入が、世界すべての国で義務化されたから。
3. 先進国だけでなく、発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減に取り組むことになったから。
4. 法的な強制力を持つ罰則規定が設けられ、目標を達成できない国に制裁を科す仕組みができたから。

答え合わせ・解説

問1	答え 4 自動車 > バス > 鉄道	輸送効率と環境負荷の関係を見ると、一度に多くの人を運ぶことができる公共交通機関のほうが、1人あたりの排出量は少なくなります。提示された数値を確認すると、排出量が最も多いのは自動車（147g）で、次いでバス（56g）、最も少ないのが鉄道（22g）となります。バスも自家用車に比べれば環境負荷は低いですが、路面電車を含む鉄道はそれ以上に優れた環境性能を持っています。この順序を正しく理解することは、都市計画における交通政策を考える基礎となります。
問2	答え 4 化石燃料	石油や石炭などは、地中に埋まった動植物の遺骸が変化してできたものであるため、化石燃料と呼ばれます。これらは一度使うと使い果たしてしまう枯渇性資源であり、現代社会の主要なエネルギー源となっていますが、環境負荷の面でも課題を抱えています。
問3	答え 4 ごみを資源として再生する際には、分別の手間や加工のためのエネルギー、費用がかかる。	リサイクルは資源の有効活用には有効ですが、回収・運搬・加工の過程で新たなエネルギー消費やコストが発生するという側面があります。そのため、3Rの優先順位では、リサイクルよりも「リデュース（発生抑制）」や「リユース（再使用）」の方が、環境負荷が低い取り組みとして上位に位置づけられています。また、生産者に廃棄後のリサイクルまで責任を持たせる「拡大生産者責任」という考え方も重要視されています。
問4	答え 1 マイクロクレジット	この仕組みは、通常の銀行融資を受けることが難しい貧困層に対し、無担保で少額の資金を融資することで経済的な自立を支援するものです。バングラデシュのグラミン銀行などが有名な事例です。「リージョナリズム」は地域的な経済統合（地域主義）、「インクルージョン」は社会的包摂、「マニファクチュア」は工場制手工業を指し、それぞれ意味が異なります。
問5	答え 3 途上国の生産者の生活を守るため、適正な価格で取引されたフェアトレード商品を購入する。	エシカル消費は、社会貢献や環境配慮を伴う消費活動です。フェアトレード商品の購入は、途上国の生産者の人権や生活環境を守ることにつながる代表的な事例です。一方、大量消費や使い捨ての推奨は、資源の枯渇や環境破壊を招くため、エシカル消費の考え方とは相反します。
問6	答え 4 パリ協定	地球温暖化対策として2015年に採択されたこの枠組みは、産業革命以前からの気温上昇を2度未満に抑えることを世界全体の長期目標としています。それ以前の1997年に採択された京都議定書では、主に先進国にのみ温室効果ガスの排出削減義務が課されていましたが、この新たな枠組みでは途上国を含むすべての参加国が削減目標を定めることが求められています。
問7	答え 1 SDGs（持続可能な開発目標）	2015年の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」に記載された、2030年を期限とする国際目標です。「誰一人取り残さない」ことを理念とし、環境保護、貧困の解消、経済成長など、社会・経済・環境の3側面を統合した17のゴールから構成されています。選択肢にあるODAは政府による発展途上国援助、APECやTPPは経済連携を目的とした枠組みであり、17の広範な目標を指すものではありません。
問8	答え 3 生産地から消費地までの距離が短くなることで、輸送にかかるエネルギー消費を減らすことができるから	エシカル消費の観点において、地産地消は環境負荷の低減に大きな役割を果たします。輸送距離（フード・マイレージ）を短縮することは、トラックや船舶などによる化石燃料の消費を抑え、二酸化炭素の排出量を削減することにつながります。これが「輸送にかかるエネルギー消費を減らす」という環境面での効果です。
問9	答え 4 フェアトレード	発展途上国の生産者は、国際市場の価格変動や立場の弱さから、生産コストを下回る安値で製品を買い叩かれることがあります。この仕組みは、消費者が適切な価格で製品を購入することによって、生産者の安定した生活と自立した経済活動を支えることを目的としています。一方的な資金援助とは異なり、対等なビジネスを通じた持続可能な支援である点が特徴です。
問10	答え 4 フェアトレード（公正な貿易）	単なる一時的な援助ではなく、対等な立場で経済活動を行うことで、発展途上国の生産者の自立を支援する仕組みです。消費者がこの取り組みによる製品を積極的に購入することは、国際社会における貧困解決への貢献につながります。
問11	答え 4 都市鉱山	廃棄された電子機器の中には、自然界の鉱山に匹敵するほどの貴重な金属が蓄積されていることから、これを「都市鉱山」と呼びます。携帯電話やパソコンなどの製品から金やパラジウム、コバルトといったレアメタルを取り出すことで、資源を海外からの輸入に頼るだけでなく、国内で循環させる持続可能な社会の実現が期待されています。
問12	答え 1 単なる食料供給の不足（飢餓）が問題なのではなく、背景にある家庭の経済的困窮という社会構造自体の解決を目指しているから	目標2の「飢餓をゼロに」は、主に干ばつや紛争などによる物理的な食料不足の解消に重点が置かれています。一方で、目標1の「貧困をなくそう」は、教育や保健、生活水準など、経済的理由から生じるあらゆる不平等を終わらせることを目指しています。子ども食堂は、食事の提供を通じて、その背景にある「世帯の収入不足」や「経済格差」に起因する子どもの不利益を解消しようとする取り組みであるため、目標1の達成に深く関わっています。
問13	答え 3 先進国だけでなく、発展途上国を含むすべての参加国が温室効果ガスの削減に取り組むことになったから。	以前の京都議定書では、温室効果ガスの削減義務を負うのは主に先進国に限定されていました。しかし、近年排出量が増加している新興国や途上国の協力なしには地球温暖化を止めることができないという背景から、パリ協定ではすべての国が削減目標を作成し、対策を講じることが義務付けられました。